

一般質問

11月10日

知りたい！
聞きたい！



新田健介 議員

グローバル教育推進事業 について

問 外国語指導助手(ALT)は町内の全小学校を回っているようであるが、グローバル教育推進事業に関しては、半数の小学校のみで展開されており、未実施の学校もあると聞いている。

すべての学校において、同じような教育が受けられる環境を整備するべきだと考えるが、教育委員会の考えを問う。

答 英語グローバル教育推進事業の未実施校については、英語講師派遣事業として、各学期1回程度、英語講師による指導を通して、英語によるコミュニケーション能力を育成する教育環境を整えている。

語学留学支援事業について

問 現在のところ、フィリピンのセブ島へ、町内在住の中高生の留学支援を行っている。

これまでも、総務文教常任委員会などで、留学先を本町の姉妹島であるカウアイ島にするよう何度も要望してきたが、その後の進捗状況を問う。

答 語学留学の実施場所については、昨年の6月、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ(KCC)において、語学留学生の受け入れについてご提案をいただいた。

また、先月、KCCの国際教育コーディネーターが来町され、夏休み期間の短期語学留学生の受け入れ体制などについてご説明をいただいたところである。

カウアイ島での語学研修事業については、常任委員会でご意見をいただき、大きな課題の一つになっているが、マンツーマンレッスンからグループレッスンへの指導形態の変化や、留学

に係る経費の増額など、多くの課題がある。

しかしながら、姉妹島であるカウアイ島へ変更した場合、語学学習のみならず、文化面や日系の方々との交流などが加わる可能性があり、セブ島とは異なった新たな魅力もあることから、関係する方々と詳細な協議を進め、実現に向けた調整を図る予定としている。

中学校の統合について

問 2年後の令和3年に、統合中学校が開校する予定になっている。

そんな中、まず魅力化検討委員会が立ち上がり、本年度、統合準備委員会が立ち上がったと思うが、それぞれのメンバー構成、話し合いの内容、開催頻度を問う。

また、現在の小学校5・6年生、そして中学校1年生は、統合中学校では1・2・3年生となるが、その中でも特に、高校受験を控える3年生達への特別なケアやフォローは何か考えているのか。

答 魅力化検討委員会のメンバーについては、多様な意見を聴きたいという観点から、UITAメンバーや起業家、PTA会長、教員代表の学校関係者や地域連携教育アドバイザーなどの有識者で構成している。

「魅力ある学校づくり」をテーマとし、現在の各校それぞれの現状を共有しながら2回の協議を行った。

統合準備委員会に関しては、新たな中学校の開校に向け、統合中学校の校長、教頭、関係主任教諭、統合中学校のPTA会長や保護者代表などで構成され、学校の名称、校章、校歌、制服や通学体制、学校運営方針や教育課程に関することなどを検討しており、本年度は7回の開催を想定している。

統合時における生徒のケアについては、統合前の段階で、児童生徒が互いのことを知り、新中学校でともに生活し、学んでいく意識を高めることが必要であることから、学校の行事や授業等で、交流できる場面に検討していきたい。